

東京都立大学附属高等学校同窓会 2021年度下期「理事・監事・評議員会議」議事録

通常であれば1月末に開催される「2021年度下期理事・監事・評議員会議」は、新型コロナ・オミクロン株の爆発的な感染拡大という状況から、対面での会議は中止しました。メールおよび郵送にて議案書を配布し、メール、FAX、郵便により、ご意見、アイデア、質問などをお寄せいただき、その後 Zoom によるオンライン・ミーティングを開催して議事を成立させました。

議案1 2021(令和3)年度事業報告(2021. 4. 1~2021. 12. 31)

① 会報の発行(2021年6月30日発行)

印刷部数 9,000部

発送部数 国内会員8,028部 特別会員(恩師)152部

海外在住会員85部、 桜修館教職員・PTA・生徒に配布200部

内容に関しては、例年イベントなどの報告が中心だが、記念祭、ホームカミングデーなどが中止されたため、同窓生からの寄稿で構成した。

② 第73回記念祭(2021年9月11日、12日)

前年は全面的に中止となったが、第73回は在校生のみの参加で開催された。2学年ずつの時差登校、YouTube によるオンラインなど活用。

同窓会ルーム「八雲が丘の集い」は、準備していたが中止。PTA の模擬店や小学生と保護者対象の学校説明会なども中止となった。

③ 「八雲が丘賞」

昨年の第8回「八雲が丘賞」の選定が本年度まで持ち越しとなっており、第8回と第9回を今年度に同時に授賞することとした。

第8回「八雲が丘賞」 日本文化部かるた班

第9回「八雲が丘賞」 軽音楽部

例年表彰式は記念祭の閉祭式の会場で全校生徒の前で行われてきたが、今年度はコロナの感染防止の観点から放送室での表彰となった。校内放送で表彰状を読み上げた後、表彰された両部の部員とコンコースで記念写真を撮影。

表彰状については、次回同窓会報に掲載。

④ 八雲が丘学友会

5月15日(土) 桜修館の鳥屋尾校長が小石川中教校長に転出され、石崎規生校長が着任。「八雲が丘学友会会則」「八雲が丘賞規定」などを紹介したほか同窓会活動の概要を説明。「八雲が丘文庫」の再構築についても合意を得る。

桜修館の状況は、クラスマッチ中止、毎日4学年(全校の2/3)のみ登校、あとはオンライン授業、部活は原則禁止など。

9月4日(土) 学校の状況説明。分散登校、時差登校を実施。ぽつぽつ家庭でのコロナ感染が出ている。是非が問題ともなったパラリンピック(車椅

子バスケット)観戦、3学年の約半数の希望者が参加。前日に全員PCR検査をしてバスで往復。

12月11日(土)東京都からのコロナに関する通達が多く、学校としては不都合がいろいろ出ている。時差登校は継続、修学旅行などの行事は例年通り開催予定。桜修館同窓会は3月にオンライン総会を開催予定。桜修館の生徒向け進路指導や大学キャンパスツアーを実施予定。

⑤第6回「八雲が丘ホームカミングデー」

昨年度開催予定の第6回(第20期生と45期生が対象)が延期になったのに続き、本年度開催予定の第7回(第21期生、46期生対象)も中止せざるを得なくなった。

2022年度に都大附高20, 21, 22期生、45, 46, 47期生と桜修館1期生の合計7期分を合同で開催できるよう考える。

⑦「八雲が丘文庫」の再整備

10月1日からの寄贈本の受け入れ再開について桜修館と合意しているが、感染症対策を優先して寄贈本の整理その他の作業が止まったままである。

⑧ 会議

2021年3月 拡大会報編集委員会、中止

5月12日 2020年度会計監査

7月4日 2021年度上期「理事・監事・評議員会議」、中止

7月31日 理事・監事・評議員 Zoom ミーティング

その他の打ち合わせなどすべて中止

議案2 同窓会の2021年度の財務状況(2022年2月現在)

暫定的な数字だが、会費収入は256万円で前期比横ばい。支出は会報関係は制作・印刷・発送の合計194万円、八雲が丘賞の記念品代20万円、通信費と支払い手数料が31万円余。したがって損益としては11万円弱の黒字である。

受取会費に係る支払い手数料が10%と管理費の中の大きな部分を占めており、これの圧縮が課題ではあるが、ゆうちょとコンビニの払込用紙を同封することで会費納入会員数を確保しており、銀行振り込みのみにすることは難しい。自動振替の導入が、任意団体の同窓会でも出来るかどうか、方法はないか、再度検討する必要がある。

議案3 今後の活動計画 (2021年度下期および2022年度)

以下は今後の感染拡大が抑えられ、2022年春以降日常活動が再開できるようになるとの想定のもとでの計画である。

① 同窓会報の発行

2022年6月30日発行予定。A4判12P。

印刷予定9,000部、配布対象=会員・特別会員約8,400部、

桜修館関係200部、桜修館同窓会50部

住所判明者が減ってきているので、印刷部数を減らすことを検討する。

編集委員会

編集委員会は例年3月中旬に開催されているが、昨年はコロナ禍で中止。今年もオミクロン株の蔓延で開催は難しいことから、この Zoom ミーティングをもって委員会を兼ねることとした。

工程は、例年通り4月30日原稿締め切り、5月編集作業、6月組版、校正、印刷製本、発送。

例年の会報は、「ホームカミングデー特集」「記念祭グラフ特集」「八雲が丘賞報告」で5~6ページを占め、同期会・クラス会報告が2~3ページあるが、この号は「八雲が丘賞」の報告以外は見込めない。したがって会報の内容については今回も寄稿中心にならざるを得ないと考える。現在すでに寄稿が2本来ています。一斉メールで原稿を募集する。

② 名簿の管理(2022年1月30日現在)

会員総数 14,350名

住所判明者 8,013名 (海外在住80名、会報受け取り拒否71名、特別会員との重複2名含む)

死亡 774名、住所不明 5,563名

特別会員(恩師) 296名

住所判明者 151名、死亡71名、住所不明73名

住所不明率が前年に比べ増加している。全体で37.8%→38.6%。コロナ禍により同期会、クラス会などが開催できなくなっていることが影響していると思われる。

③ 第74回記念祭への参加、出展計画

今年の記念祭は、9月10日(土)、11日(日)。3年ぶりにB棟201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展する。府立高校以来の3校の年表を掲出、資料・写真の展示、DVDの終日放映。都大附高時代の資料、写真の収集努力を強化し、展示内容の拡大に努める。

11日に「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌」合唱イベント実施。かつては旧制府立高卒業生が多数参加していたが、2019年は1名のみ。都大附高卒業生中心に実施することを考える。「音智」OBOGに声をかけて参加者を募る。

桜修館に学生歌、寮歌、などを引き継いでいくためにも、桜修館の合唱コンクールへの参加を実現し、歌う機会の拡大を図る。

④ 第10回「八雲が丘賞」

3月末に、桜修館に団体または個人の推薦を依頼する。受賞候補がでたところで、7月3日(日)の理事会、または持ち回り理事会で、受賞者・団体を決定する。

この賞は桜修館内でも存在が定着してきており、昨年10月の表彰式後に「第8回」受賞の日本文化部からたばからは全員のお礼状が届いた。

桜修館内に文化部対象の賞との認識があるようだが、運動部も対象である。

⑤ 第6回合同「八雲が丘ホームカミングデー」の実施

中止となった2020年度、2021年度の2回のホームカミングデーと来年度のホームカミングデーを合同で「第6回八雲が丘ホームカミングデー」として開催する。

対象は、第20期、45期と、第21期、46期、第22期、47期および桜修館第1期(卒業後10年)。時期は10月ないし11月。

会場は、桜修館メインアリーナで歓迎式典。懇親会はパーシモン他、を検討する。

各期のキーマンを部活のチャンネルを活用するなどして把握したい。

⑥ 同窓会定期総会

今年度は3年に一度の総会の開催年だったが、コロナ感染症により10月の開催予定が中止となった。したがって今年は1年遅れの開催を予定する。10月16日(日)または10月23日(日)のいずれかを開催日とし、会場は桜修館の多目的ホール。今回は総会の後に懇親会を開きたい。総会14時～15時半、懇親会15時半～17時。「YAKUMO111」が閉店したため、懇親会場は別途考える。

総会の開催告知は6月30日付の同窓会報で行うが、新型コロナの感染状況によっては再度の延期も考えられるので、会報編集時点で最終的に判断する。

⑦ 八雲が丘文庫の再建、卒業生著書収集の再開

昨年、桜修館との間では以下の①～⑤の内容で合意しており、同窓会の文庫担当責任者は嶋津常務理事。さらに一人二人実務担当を増やしたい。

ただし現時点では感染予防の観点から、学校への出入りをできるだけ控えており、自由にメモリアルルームに出入りできるのがいつになるか不明である。

懸案は、ロッカーの購入、寄贈本貼付用ステッカーの作成。

また、桜修館の図書室の司書との間でも共通認識を持っておく必要がある。

改めて「八雲が丘文庫」収蔵本のリストを作成する必要もある。

①同窓会内に八雲が丘文庫担当を置く。担当者は定期的に桜修館で寄贈本の整理にあたる。いずれ文庫所蔵の寄贈本のリストを作成する。

②寄贈本は、桜修館の担当副校長がメモリアルルーム内の八雲が丘文庫用ロッカー(新設)で一時保管する。

③寄贈本は卒業生自身の著作に限り、2種1冊ずつ計2冊までとする。

④寄贈本には、八雲が丘文庫の特製ステッカーを張り、扉内に何年の卒業生であるかを明記する。

⑤寄贈本の展示場所は桜修館と相談のうえ、図書室以外にも置けるようにする。貸し出しは自由とする。

⑧ 講演会の開催

同窓生が現役の高校生に語る講演会を実現したい。これまで2度開催したが、後が続いていない。講演会が難しければ、原稿の形で書いてもらう方法もある。

⑨ 今後の会議などの予定

5月上旬	2021年度会計監査
7月3日(日)	2022年度上期「理事・監事・評議員会議」
9月上旬	記念祭準備、第74回記念祭
10月後半	同窓会定期総会
10～11月	第6回合同「八雲が丘ホームカミングデー」

以 上